

防災メモ

火山監視・情報センター

気象庁は、火山活動の監視・解析を 24 時間体制で行い、総合的な活動評価・診断を実施するため、全国 4 ヶ所（札幌、仙台、東京、福岡）に火山監視・情報センターを置き、平成 14 年 3 月 1 日から運用を開始しました。

仙台管区气象台火山監視・情報センターは、東北地方の恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山と燧ヶ岳の 16 の火山を担当しています。

東北地方の火山活動に異常な変化が発生した場合、火山監視・情報センターでは各種観測データによる総合的な判断を行い、適時適切な火山情報を発表します。

発表された火山情報は、地元の气象台、防災・報道機関を経由してお知らせします。また、火山活動状況をきめこまかくお知らせすることや火山現象に関する啓発等を目的として、月ごとに東北地方の活火山の活動状況を取りまとめた、火山活動解説資料を毎月上旬に公表します。

